

第2回 甲府市上下水道事業推進会議 会議録

- 会議の名称：第2回 甲府市上下水道事業推進会議
- 開催日時：令和3年11月24日（水）午後3時00～午後4時30分
- 開催場所：甲府市上下水道局 3階大会議室
- 出席委員：風間ふたば委員、落合圭子委員、中澤謙一郎委員
石平 博委員、大久保一雄委員、小沢忠雄委員
- 欠席委員：野村千佳子委員
- 傍聴者数：0名

■ 次第

- 1 開会
- 2 報告事項
- 3 議事

- (1) 甲府市上下水道事業経営戦略 第4次戦略推進計画
進捗管理（中間）報告について
- (2) 甲府市上下水道事業のこれまでの広報活動と今後について
- (3) 第5次戦略推進計画策定への要望・検討課題について
- (4) その他

- 4 事務連絡
- 5 閉会

■ 議事について意見交換等内容

【会長】

それでは、次第3の議事の意見交換等に移らせていただきます。

(1) 甲府市上下水道事業経営戦略第4次戦略推進計画進捗管理（中間）報告について事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

【会長】

ありがとうございました。

甲府市上下水道事業経営戦略第4次戦略推進計画進捗管理（中間）について、資料3の8ページに在りましたように、非常に幾つもの項目が多岐

に渡り、それぞれについて上下水道局内で事業評価が行われていて、進捗管理（中間）として報告をしていただきました。

この説明に対して委員の皆様から何か質問とご意見などありますか。

前回、この上下水道事業の内容について説明をしていただきましたが、これを実際に実施していくにあたり、この様に目標をしっかりと定めて、それぞれの進捗状況を管理していくということですが、何か、どの様なことでも結構ですので、解りにくいことがあれば、ご質問いただければと思います。いかがですか。

【委員】

鉛製給水管対策事業についてですが、先ほどの報告では「下水道整備が終息に向かっているので、なかなか進捗していない」という説明をお聞きしましたが、この鉛製給水管は平成26年度より「鉛製給水管布設替基本計画」に沿って行っていると思います。この業務指標の900件に対し、上半期が316件の35.1%しか布設替えが出来ていませんということですが、市道の拡幅や舗装のやり直し、補修など、その時々水道と建設で協議を行い、舗装を改修する時に併せて出来ないかということですが、協議できれば、パーセントが上がるのではないかと思いますので、その様な計画は無いのですか。

【会長】

ありがとうございました。事務局お願いします。

【事務局】

「市道の舗装もしくは、道路の新しい進出などの改良、道路改良工事にもなって給水管の取替工事、布設替工事を行う計画は無いのか」というご質問にお答えいたします。

基本的には、すべての工事で耐震管を現在使用しておりますので、耐震化率の向上にも併せて取り組んでおります。舗装をやり直しますと、それから数年間は道路を掘削することが不可能となりますので、予算・人員の範囲で、できる限り道路改良工事等に対応出来るよう関係各所とは緊密な連携を取っております。

しかし、鉛管の本数になりますと、必ずしも鉛管ばかりの路線とは限りませんので、それに比例して鉛管の本数が、なかなか思うように伸びていかないという状況にあります。

いずれにしましても、道路改良工事等の情報の収集に努めまして、同時

に工期等、予算が許す限り対応するという基本的なスタンスで臨んでおります。考え方としては、以上であります。

【会長】

ありがとうございました。委員いかがですか。

【委員】

このパーセントが、何か少ない様な感じがしているのですが、水道事業単独で工事を行うには、舗装のやり直しや他の工事を行うことは大変だと思いますので、先ほども言いましたが下水道工事ばかりではなく、他の関係各所と協議を進めながら工事を行えば、もう少しパーセントが上がるのではないかということです。

【事務局】

はい、ご意見ありがとうございました。

【会長】

ありがとうございました。他にいかがですか。

【委員】

今の質問に関連することですが、先ほどのご報告の中に「新たな手法について検討すること」とありましたが、具体的には、どの様な方法を検討しているのか、少し教えていただきたいと思えます。

給水管を新しくするという事は、とても大切なことですので、「どの様な方法で行えば、より効率的に出来るのか」をお伺い出来ればと思って質問させていただきました。

【会長】

ありがとうございました。事務局お願いします。

【事務局】

「新たな手法を」とご報告いたしました。これまでの工事にもなう同時布設替及び漏水修理にもなう取替え、これに加えて、お客様からの家屋の新築（建替え）増改築にもない、給水装置の改造申請が行われます。本来、この際のお客様の申請は、宅地内だけの改造となりますが、道路側に鉛製給水管が残存している場合については、併せて道路側の布設替を上下水道局の費用負担で行わせていただくという取り組みを令和4年度から始めたいと考えております。

この取組によって、従来から行われていた配水管同時布設替と漏水修理による取り替えに加えて、更なる取替件数の上積みを図っていきたい

と考えております。以上であります。

【会長】

ありがとうございました。よろしいですか。

【委員】

どの位の新築（建替え）増改築工事があるか、将来的に考えることは、難しいとは思いますが、それを行った場合に、どの位伸びそうかというような目安は、ありますか。

【事務局】

給水装置の改造申請は、水道課と別の給排水課という部署で対応しております。現在、年間200件程度の鉛管の取り替えを見込んでおります。布設替工事等と併せて、鉛管の取替工事を増やしていくことで、令和4年度何本になるか、鋭意努力し継続していくということで、ご理解いただきたいと思っております。

【会長】

ありがとうございました。他にいかがですか。

【委員】

事業評価見込みのABCとか、CプラスとかCマイナスの見方が解りにくいので教えていただきたい。例えば「積極的見直し」というのは、「進捗が概ね順調だが、業務目標の達成が困難など見直しが必要」とありますので解りますが、その他のCマイナスなどの意味をもう少し詳しく教えていただきたいと思っております。

【会長】

それでは、事務局お願いします。

【事務局】

画面の表より、もう少し詳しい説明の表をお手元にご用意させていただきました。

事業評価見込みのAの内容につきましては、「計画通り進捗していて、業務指標の実績が概ね目標値も達成しており、今後拡大していく必要がある事業」ということであります。Bの「継続推進」につきましては、「目標値を概ね達成しており引き続き実施すべき事業」、Cプラスの「積極的見直し」につきましては、「進捗は概ね順調ですが業務目標の達成が困難など見直しが必要な事業」、また、Cマイナスの「一部改善」につきましては、「進捗が遅延していて業務指標の目標の達成も困難となるなど、事

業の進め方等に改善を要する事業」と位置付けております。

Dプラスにつきましては、「統廃合」により「単独事業として行う必要がなく、他の事業と統合して実施すべき事業」、Dマイナスの「縮小」につきましては、「事業の進捗や実績が成果の状況等から規模を縮小すべき事業」、Eの「休止・廃止」につきましては、「事業の進捗や実績が見込まれる成果状況等から一時的に休止または廃止すべき事業」、Fの「完了」につきましては、「計画年度をもって完了した事業」という位置付けで、評価を行っております。

【委員】

ご説明いただいて理解いたしました。Cプラスの「積極的な見直し」というのは、「概ね順調であるけれども、今のままでは達成がちょっと難しいので、少し何か手を打たなければいけない事業」、また、Cのマイナスの場合は、「それも少し難しい様なので更に、もう少し手を入れなければならない事業」、という理解でよろしいですか。

【事務局】

はい、その通りであります。

【会長】

ありがとうございました。この後の議論にも関わってくるかと思う質問でありました。

他にご質問はありませんか。よろしいですか。

それでは、まだ議事も続きますので、これで議事の（1）につきましては、終了とさせていただきます。

次に、議事の（2）甲府市上下水道事業のこれまでの広報活動と今後について事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

【会長】

ありがとうございました。

ここでは、広報活動について説明を受けましたが、このプロジェクトは、甲府市水道料金等審議会において、「広報活動があまり上手じゃないですね」と提言されたことを受け、「新たな広報活動を進めていく」ということであります。

確かに、この様な映像は、まだ見たことがなく、甲府市の上下水道事業の現場に携わる職員の皆様がフル参加で、素晴らしい映像が出来上がっています。今後は、この様な広報活動を行っていくということでありませう。

それでは広報活動の説明に対して、ご意見ご質問があれば、お願いしたいと思ひます。いかがですか。

【委員】

今後、この様なPR活動を行っていくとのことですが、この映像を拝見して、現在私たちらは、「当たり前前日に日中、蛇口を捻れば水が出てきて飲める」ということを私も含めてですが、多くの市民は、本当に局職員の皆様の努力のおかげで、「おいしく飲める」ということを是非PRしていただきたいと思ひます。当たり前前って言えば当たり前ですが、本当に市民一人一人が、その当たり前前を自分に置き換えて比較してもらえらるような形で、もっと積極的にPRしていただきたいと思ひます。

また、3年毎に1度、お客様満足度調査を行っているとお聞きしましたが、どの様な方々を対象に調査を行っているとのか、その点をお聞きしたいと思ひます。

【会長】

それでは、事務局お願いします。

【事務局】

お客様満足度調査について、お答えいたします。

3年毎に1度、調査を行っており、対象者につきましては、概ね、毎回1,500名程度であります。給水区域の甲府市と2市1町に給水しておりますので、甲斐市（旧敷島町地区）、中央市（旧玉穂町地区）、昭和町の水道水をご使用いただいているお客様を無作為に抽出いたしまして、調査を行っております。

前回、令和元年度に行った調査におきましては、回答数が606名、回収率が40.4%となっております。

項目につきましては、水道の全般に関することといたしまして、水道料金、下水道使用料、それから水道工事や災害対策等について、ご質問させていただきます。調査を行っております。

以上であります。

【会長】

ありがとうございました。

この調査結果は、推進会議で報告いただけますか。

【事務局】

3年毎に一度ですので、その時々タイミングでご報告をさせていただいております。

また、調査結果につきましては、すべてホームページの公開情報の中の「上下水道事業に対するアンケート調査」として、「お客様満足度調査」という形でご報告、掲載をさせていただいております。

【会長】

結果報告として、局ホームページに掲載されているということですが、よろしいですか。

【委員】

はい。

【会長】

他に何かご意見ご質問がありますか。よろしいですか。

これで議事の（２）につきましては、終了とさせていただきます。

次に、議事の（３）第５次戦略推進計画策定への要望・検討課題について、今後の広報活動も含めて、委員の皆様お一人ずつのご意見を伺ってきたいと思いますが、その前に第５次戦略推進計画についての説明を事務局からお願いします。

（事務局より説明）

【会長】

今日の最初の議事（１）にも在りましたので、お解りいただいたと思いますが、戦略推進計画を推進するにあたり、上水道・下水道ともに幾つもの施策項目があり、それぞれの事業名毎に計画が立てられています。先ほどのようなご意見と同じになりますが、上水道・下水道のこととなりますと、当たり前のことなので行われていることが、「同じかな」と思われがちですが、出来るだけ、それぞれに努力を積み重ね、いろいろな目標を掲げて、少しずつ少しずつではありますが、改善しているということでもあります。

この十年間で、毎年この様にして、次年度の事業推進の戦略推進計画が策定されていますので、委員の皆様には、第４次戦略推進計画の方向性や進捗状況を見ていただきながら「この辺りをもっとこういうふうにした方

がいいのではないか」、「この目標はちょっと高すぎる、低すぎる」など、ご意見をいただきたいということでもあります。

この第5次戦略推進計画は、今日、この会議において決めるということではなく、ご意見をいただいた後、局で策定した戦略推進計画が、次回の第3回推進会議に図られるということでもあります。

この会議において、すべての事業項目に対し「どういうものか」、「どうしてなのか」ということは難しいと思いますので、これまでの議事、議論と、先ほどの広報活動について、一般に水道水を使用している者として、「やはりこの様なところが解りにくい」或いは「この様なことは良いことなので進めていただきたい」ということを忌憚なく、一言ずつでもご意見いただければと思います。

それでは、委員からよろしいですか。

【委員】

私からは、3点ほど質問させていただきたいと思います。

1点目は、給水管の更新についてです。従前からこの更新というのは、「とても大切ではないか」と考えておりましたが、諸々の事情があると思いますが、先ほどの「新しい手法」なども、是非積極的に使っていて、出来れば「なるべく早めに更新をしていただけたらありがたいな」と市民として思っています。

2点目は、人材育成についてです。「コロナ禍の影響で、なかなか県外への研修が出来なかった」ということですが、人材育成ということに関しては、「水道事業という大切な事業を繋げていくためには、技術の承継を行っていくということは、とても大切なこと」と思いますので、ウェブ等を使って他県との接続を行い、職員皆様の技術の向上を図っていただきたいと思います。今の時代では、なかなか難しいと思いますが、現在の職員皆様の知識や経験を後輩職員に繋げていただいて、是非とも「人材を育成していただけたらありがたい」と思っています。

最後に、3点目になりますが、先ほどのPR映像を見せていただきまして「大変すばらしいな」と思っています。

これをより多くの市民に見ていただけるような工夫をしていただいて、是非、「市民の意識向上ということに関して活用していただければ」と思っています。

【会長】

ありがとうございました。それでは、次の委員をお願いします。

【委員】

現場の職員の皆様が、いろいろご苦労されているということがよく解りました。

広報に関して、二つだけ意見させていただきます。少し話が変わりますが、ゴミ処理の場合は、ゴミの分別について様々な周知を行っており、分別についても厳しいと感じています。これに関連してですが、最近、コロナ禍の影響もありまして、自宅で料理をしているのですが、うっかり天ぷら油を下水道に流してしまうことがあります。ある意味、市民も「下水道に流していいもの」、「流してはいけないもの」を一人一人が心がけを持たないといけないと思いました。

前回の会議で「浄化」ということを詳しく説明いただき、理解しましたが、下水道に流していいもの、流してはいけないものについては、局からあまり周知されていないような感じがしています。

あと一つは、税理士会では「租税教育」といたしまして、小学校から大学まで一貫して現地に税理士がお伺いいたしまして、税金のしくみを説明させていただくという取り組みを行っております。

局では、いろいろな事業を行い、子供たちに「水」の説明をされているということですが、もっと積極的に「水」に関して「水道教室」という事業を強化していただきたいという感じがしました。

【会長】

ありがとうございました。それでは、次の委員をお願いします。

【委員】

初めに、水源保全の推進事業が、いつも尻つぼみというか、水道事業進捗管理（中間）報告書の中間評価総括表の資料を見ると「こうふの水源の森整備事業」が、一次・二次・三次とCマイナスの評価であり、第4次においても「コロナ禍の影響で参加者を減員した」とのことですが、「この事業が一番大切なこと」と思いますので、少し工夫を凝らして展開していただければと感じました。

次に、先ほどのPR映像を見させていただきましたが、是非お借りして、私が所属している会議や研修会において、始まる前に見ていただきたいと思いました。

先日、250名程お集まりいただいた研修会がありまして、局からPR

活動として用意していただきました「甲府の水」が好評で、「ちょっと甘みがあっておいしい」という会話をされていた方たちもおりまして、是非、今後も広められていければと考えています。

次に、甲府市でもSDGsに取り組んでいると思いますが、現在、企業においても学校においても取り組んでいますので、私の所属している会においても取り組んで行こうという議論をしているのですが、事業項目に何か紐づければ、かなり出来るようなことがあると思いますので、「もったいないな」と感じています。

最後に、先日、雨の日にマンホールの蓋の上で自転車のブレーキを掛けてしまったため、タイヤが滑って自転車が転倒してしまい、子供が負傷した事案がありました。

マンホールの蓋については、それぞれの地域、地区ごとで変えていただいているとは思いますが、まだ鉄製でつるつる滑る蓋も残存していますから、点検して状況を把握していただき、早く変えていただくことで「子供の安全」という面では良いと思います。局で把握していないということであれば、甲府市の小中学校を通して、把握に努めていただきたい。また、千葉県では、同じ様な事故がありましたので、通学路の危険箇所の洗い出しを行い、市町に要望をしていると聞きました。是非その辺りも点検・確認を行い、早めに変えていただきたいと思います。

【会長】

先ほどの委員の意見にもありましたが、日頃、私達は、上下水道事業と専門の職種が近いため、事務局の説明が良く解りますが、委員の皆様のご意見をお聞きしますと、「やはり違うな」と感じています。

この様なご意見等が、とても新鮮で、それから「なるほどな」と思うことが沢山あります。

先ほどのSDGsのご意見などは、本当に、あちらこちらで言われていることで、水道・下水道には、ものすごく紐づけ出来ることがいっぱいあると思います。SDGsの考え方や活用もPR活動の中に含めていただき、広報活動を行うことで、学校等につきましては、より親密に関わっていただける事業、事案となり「生徒たちも耳を傾けていただけるのかな」という感じもいたしました。

ありがとうございました。それでは、次の委員お願いします。

【委員】

9月14日の新聞に、山梨県では人口減少と水道施設の老朽化による対策として、「水道事業の広域化に向けたプランを策定する」ということをお聞きしました。水道事業は、原則、市町村経営で行う事業と認識しています。まだ少し先のことになりますが、甲府市においては、「水道広域化推進プラン」について、山梨県とどの様な形で関わっていくのか。

また、現在はシミュレーションなどの段階で策定案が出てこないと対応出来ないのは分かりますが、局としては、どのような対策を行うのか、少しお考えがあれば、お聞きしたいと思います。

【会長】

ありがとうございます。

それでは、事務局お願いします。

【事務局】

委員からご質問をいただいた通り、山梨県で広域化の検討が始まっております。国の要請に基づきまして、日本の全都道府県に対して要請をしておりまして、各都道府県が検討しているという状況であります。

現在、全市町村で構成する山梨県の広域化推進プラン策定の検討会議が設置されており、協議を始めております。具体的には、まだ何も決まっていることがなく、「このような方向性で」というところまでは、至っておりません。それぞれの市町村の現状とか、課題等を整理している状況でありますので、今後、議論が進んでいくと考えております。

以上であります。

【会長】

委員よろしいですか。それに関して何か心配ごと、或いは賛成・反対などあれば、ご意見をいただければと思います。

【委員】

甲府市の場合は、局の経営でしっかりしていると思いますが、例えば、県内の人口の少ない市町村では、「合併か共同で」というような内容になると思います。また、水道事業の更新等の対策が遅れている事業体もありますので、山梨県としては、「その事業体と一緒に事業を行っていただきたい」という対策になるのかと思います。その時には「水道料金の値上げがあるのかな」と私は思いました。今後、その様な検討・調査を重ねていただき、是非、その時は他市町村のことも考えながら事業経営を行っていただければありがたいと思います。

【会長】

ありがとうございました。何か事務局からございますか。

現在の状況では、先ほどの回答でよろしいですか。何か他に付け加えることがあれば、よろしいですか。

【事務局】

はい。

【会長】

最後になりますが、委員よろしくお願ひします。

【委員】

第4次戦略推進計画の進捗状況（中間）報告の中で、幾つか課題が上がっていますが、やはりどれも難しい課題が残っています。改善を試みるにしても、直ぐに改善するというのは難しいと思っています。

このような状況で、十分苦慮していることは分かりますので、例えば、KPIの数値目標があり、「その目標値に対して達成度が低い」という見方がありますが、一方、その中で「ここを改善できた」、「こういう工夫をした」というものを含めて、最終的な報告時には、内容を記載していただき「前向きに何ができたか」ということも、お聞きできたらと思います。

また、先ほど「新しい手法」とありましたが、それを行った結果、「数値としては、この様になりました」など、なかなか数値として表れて出てこないかもしれませんが、その辺りのことも伺えたらよろしいかと思うのと、或いはこれを基に「この事業の推移予測を行うということも一つの方向性なのかな」と思いました。簡潔に言いますと、数値として、なかなか表わせない、出てこない事業もあるので、「その過程で、どの様な対策を講じて、どういう結果になったか、その結果について、どんな方向性を検討し、対処しているか」をお聞きしたいと思ひました。

次に、広報に関しては、これもやはり難しく、資料4の14ページの説明では、3年位の計画の中で認知を広めていくということですが、「なかなかこの短い期間では難しいかな」と思ひます。多分やり続けることが重要であるとともに、一方で「やはり何ができたか」、先ほどの意見とは逆のことになりますが、「どういう目標で何ができると、その広報としては、どう出来たのか」ということが、少し解かるとよろしいかと思ひます。

例えば、先ほどの「お客様満足度調査」と「市民実感度調査」では、何が乖離の要因なのか、もう少し迫ることで、一つは「解りやすい広報の成

果」として残せていけると思います。ただ、これもまた、なかなか数値として表せない部分ではあると思います。人は普通に「満足かと聞かれれば」やはり、満足していない部分を挙げてくるのが常ですので、満足している部分を引き出す聞き方というか、認知が少しでも上がるように、お客様満足度調査の質問項目を少し工夫してみるのもよろしいかと思います。

今後、広報を行っていくための動機づけにもなるので、効果が見られるような質問が、少し含まれると良いかなと思いました。

【会長】

ありがとうございました。

今日、ご出席されている委員の皆様からご意見等をいただきました。

先ほども説明しましたように、次の第3回推進会議が、第5次戦略推進計画策定ということになりますので、事務局で今日の委員皆様のご意見等を踏まえて、案の策定をよろしくお願いします。

それでは、これで議事の（3）につきましては、終了とさせていただきます。

最後に、（4）その他についてですが、何かございますか。

今日は予定より時間がありますので、委員の皆様から最後に一言、何かあれば、お聞きしたいと思いますが、いかがですか。

【委員】

ありません。

【会長】

ありがとうございました。

それでは、本日の次第の3議事を終了させていただきます。

すべて承認といいますか、第4次戦略推進計画の進捗状況（中間）報告に対するご意見ご質問もいただき、ご協力ありがとうございました。

もしよろしければ、議事の終了に委員の皆様の手拍をいただきたいと思っています。

よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

以 上